

選定手順

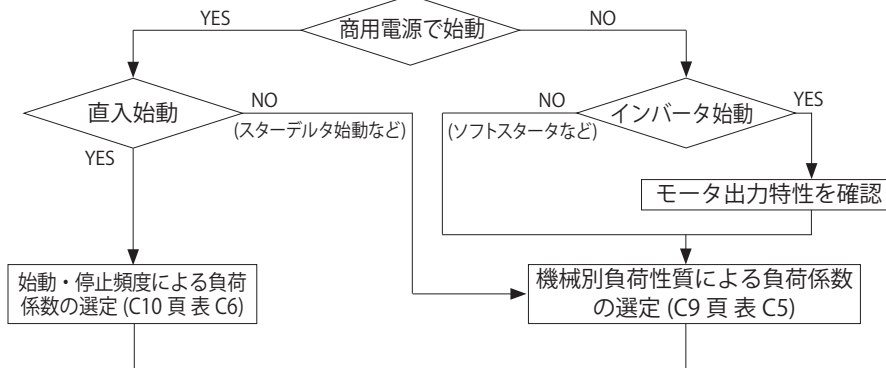
次のフローチャートを参考に、機種選定を実施して下さい。選定方法について分からない場合は、ご照会ください。

Step1: 使用条件の決定

選定を始める前に、次の条件を決定して下さい。

- ・用途
- ・連続運転か、または起動・停止が頻繁に行われる運転か
- ・電源は直入れか、スターデルタ始動やインバータ駆動か
- ・負荷トルク T_L
- ・その他周囲の条件（温度、湿度、屋内・屋外、その他環境など）
- ・1日あたりの運転時間
- ・衝撃荷重の度合い
- ・取付方向（出力軸方向）、取合形状
- ・ラジアル荷重

Step2: 機種選定



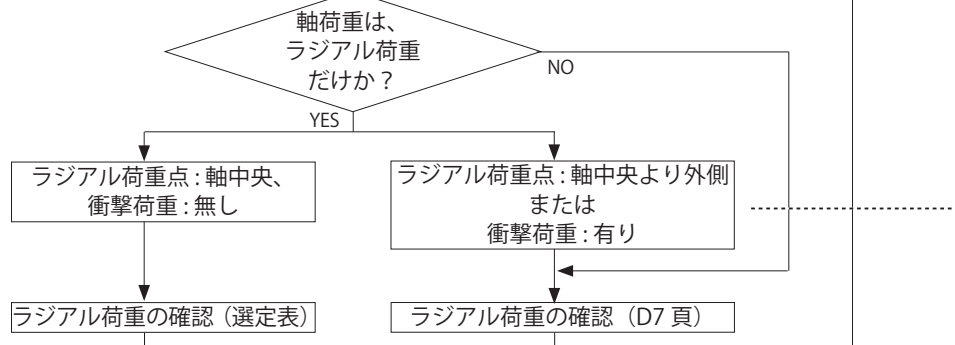
出力回転数、減速比の選定

実伝達トルク T_{Ln} の計算 $T_{Ln} = T_L \times [\text{負荷係数}]$

T_L : 負荷トルク

減速機枠番の決定
実伝達トルク $T_{Ln} \leq$ 減速機の許容出力トルク T_{out}

Step3: 確認



軸荷重は、出力軸許容ラジアル荷重 Pro 値以内か?

NO → 減速機の枠番を 1 サイズ上げる

YES → 出力軸方向、取付方法、潤滑方式の確認

寸法の確認

周囲条件の確認

Step4: 形式決定・完了

形式の決定・選定完了

手順の説明

- C9、C10 頁より、用途に合った負荷係数を選定してください。
- 選定表より、ご使用の出力回転数または減速比に近い値が記載されている欄を選んでください。
- 負荷トルクと負荷係数より、実伝達トルクを計算します。
- 計算した実伝達トルクよりも大きい許容出力トルクを持つ枠番・減速比を、選定表から選んでください。
- 減速機の出力軸にかかる荷重は、ラジアル荷重だけか確認ください。スラスト荷重もかかる場合は、ご照会ください。
- ラジアル荷重が出力軸のどの部分にかかっているか、また衝撃荷重の有無によって、技術資料 D7 頁の係数を参照し、換算してください。
 ※ 1. 選定表の出力軸許容ラジアル荷重は、荷重位置が軸中央の場合の値です。
 ※ 2. チェーン、V ベルト、歯付ベルト等で初期張力を与える場合には、ラジアル荷重にこれらの影響を含めて算出してください。
- 計算したラジアル荷重が、出力軸許容ラジアル荷重を超えていないか、確認してください。
- 選定した組合せが、お使いの出力軸方向、取付方法、潤滑方式に対応できているか、確認してください。
- 寸法を確認してください。お客様のご使用の条件に合わない場合は、ご照会ください。
- 選定した組合せが、周辺の環境などの条件に合っているか、確認ください。確認に際しては、C2 頁の「標準仕様」を参照ください。
- 選定した機種について、C4 頁の「形式」をご参照の上、形式を決定してください。以上で機種選定は完了です。